

# フレンドリー

## FRIENDLY



### 第11回大垣市中学生ドイツ・シュツットガルト市 研修派遣事業 (7/26~8/2)



シンデレラ城のモデルになったノイシュバンシュタイン城へ  
ホストフレンドたちと訪問



ヴィルヘルマ動物園(シュツットガルト市内)



ドイツの高校生と交流



大垣市長の親書をお渡ししました

### 第6回大垣市小・中学生オーストラリア・グレンアイラ市 研修派遣事業 (8/17~8/24)



グレンアイラ市役所の前で記念撮影



歓迎レセプションでリコーダーと合唱を披露



オーストラリアの子どもたちと交流

ドイツ・シュツットガルト市へ中学生8名と引率者3名の計11名、オーストラリア・グレンアイラ市へ小・中学生9名と引率者3名の計12名が派遣されました。学校訪問や市内見学などでは、現地の歴史や文化を肌で感じることができました。そして、ホストファミリーとの交流を通して多くのことを学び帰国しました。その成果を、84号(3月号)で報告いたします。また、報告会を実施します(詳細は、裏表紙参照)。どうぞお楽しみに。

**No.83**  
2016  
SEPTEMBER



公益財団法人 大垣国際交流協会  
理事長 日比 利雄

平素は、公益財団法人大垣国際交流協会に格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、平成28年6月15日の理事会で選任され、新たに本協会理事長に就任いたしました日比利雄でございます。

多くの市民の皆さまのお力添えにより、昭和63年9月に任意団体「大垣国際交流協会」として設立されました。平成元年12月に財団法人化、平成24年4月1日から岐阜県より公益認定を受け、公益財団法人大垣国際交流協会として運営しています。ひとえに皆さま方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。私は、平成19年4月から縁あって協会と関わり、平成26年6月より副理事長として携わってまいりました。

大垣にお住まいの外国人市民は、昨年から増加傾向に転じており、総人口の約2.7%を占めるとともに定住化傾向にあるため、外国人市民との共生社会づくりが求められています。こうしたなか、重点目標とし「外国人市民とともに生きる地域社会づくり」及び「国際交流・多文化共生を担う人材育成」に寄与する事業の推進を掲げ、外国人市民への日本語学習支援事業や、日本文化体験講座など各種事業を行っています。このようにいろいろな事業が実施できますのも、多くの本協会国際交流ボランティアの皆さまや、賛助会員の皆さまに支えられていること、また、大垣市をはじめ関係機関のご理解、ご協力によるものと深く感謝申し上げます。

また、フレンドリーシティ(友情都市)との学生訪問団の派遣・受入を中心とした幅広い国際交流・国際協力活動を展開しています。

私は、青年団体に所属していた平成元年ごろから、国際交流活動に関わり始め、大垣市のフレンドリーシティであるベルギー・ナミュール市とは、交流開始前に当時のナミュール市助役と面談し、今後の交流の可能性についての事前調査に関わらせていただきました。またその後、助役のご子息を所属していた青年団体に受入をした思い出があります。

今後も、こうした海外との交流に微力ではございますが、最善の努力を尽くす所存でございます。

田中良幸前理事長同様、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

前理事長には、相談役として今後も協会のご指導を願うことになりましたので、何とぞよろしくお願い申し上げます。皆さま方の変わらぬご支援と、ご理解をお願い申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。



# 親子ふれあい異文化交流会 ~えいごに☆タッチ!~

平成28年度は、6月～12月まで毎月第3日曜日に、親子で異文化に触れるレクリエーション交流会を開催しています。大垣市民の2.7%が外国人市民であり、市内の保育園・幼稚園、小・中学校にも、外国籍の子どもたちがたくさんいます。そのような環境の中で成長していく子どもたちが、英語のゲームやあそびを通して、世界の食べ物や各国語のあいさつを覚えるなど、世界の文化に楽しく触れることができるイベントを毎回異なるテーマで実施しています。

**6月 食べもの**

ビンゴゲームをしながら食べもの名前を英語で言いました!

**8月 民族衣装**

各国の民族衣装に興味津々。

**7月 いろいろな国**

Where are you from?

いろいろな国の「ありがとう」も覚えめました。

**今後の予定**

10月16日(日) 10:00～12:00
ハロウィーンを楽しもう!
11月20日(日) 10:00～12:00
感謝祭ってな～に?
12月18日(日) 10:00～12:00
メリークリスマス

子育ての悩み相談も同時に実施しています。

## 多文化交流サロン ~ブラジル、ベトナム、バングラデシュ~ (8/27)

世界中の国・地域にはそれぞれの生活文化があります。外国の文化や習慣の違いに興味・関心を持ってもらえるように、さまざまな文化を紹介する講座を開催しています。今回は、ブラジルとベトナム、バングラデシュについて、各国の出身者から国の文化や特色を紹介する講座を実施しました。3か国の「地域」「言葉」「文化」の特徴について、一部紹介します。

**ブラジル**

各地域の特徴と、食事情について

- ブラジルは大きく5つの地域(北部・北東部・中西部・南東部・南部)に分かれている。
- 講師の岩本さんの出身地である中西部は、首都のブラジリアがあるほか、自然豊かな地域で、農業が盛ん。特にトウモロコシの栽培が多い。
- 食事情について、ポルキロと呼ばれる量り売りのお店がたくさんある。
- いまは、TVやドラマの影響と健康に良いことから日本料理がブーム。主に寿司で、サーモンとクリームチーズをフュージョン(融合)したものが人気。

講師: 岩本 千恵美 シルビアさん  
(公財)岐阜県国際交流センター 国際交流員

**ベトナム**

ベトナムと日本の習慣の違いについて

- 感謝「ありがとう」や謝罪「すみません」は日常生活ではあまり使わない。
- 理由: 親しくない仲、遠慮することで相手との壁を作ってしまうため。
- ありがとうを何回も繰り返すと、言われた方は本当は余計なことをしたのではないかと心配する。
- 初対面の女性に対して年齢・結婚の有無をたずねる。
- 理由: ベトナム語には『自分と何歳離れているか』『自分の父親より年上か』など年齢によって呼び方が変わる人称代名詞のルールがあるため。

講師: トラン ミンドクさん  
岐阜経済大学 留学生

**バングラデシュ**

バングラデシュの人口・有名な場所・生き物・国のシンボル、民族衣装について

- 人口約1億6千万人のうち、60%が0歳～25歳の若者。
- 世界最長の砂浜「コックスバザール」や、世界最大と言われている「マングローブ林」がある。マングローブ林には国のシンボルであるベンガル虎も生息している。
- ボディペイントの「ヘンナ」は繊細な模様がとてもきれい。主にお祭りの時などに子ども、女性がペイントする。一度ペイントすると2週間ほど持続する。

講師: モハンマド アリファル イスラムさん  
大垣国際交流協会 ボランティア

# 多文化共生事業

大垣市は、県内で外国人市民の割合が美濃加茂市、可児市、瑞穂市に次いで4番目に高い市町村であり(平成28年6月末現在)、平成28年8月末で4,420人の外国人市民が暮らしています(詳しくは、裏表紙の外国人人数表参照)。共に助け合いながら暮らせる地域づくりのために、日本の文化、生活習慣、ことばを理解するための支援をしています。

## 日本語の学習支援

日本語の学習支援は、平成10年度から実施しています。ブラジル、中国、ベトナムなど17か国出身の人が毎週楽しみに参加して、学習に取り組んでいます。

### マンツーマン方式日本語学習支援

日本語指導ボランティアの方とペアになって、週に1回程度、日常生活に必要な日本語を学習しています。現在、143人の外国人市民が114人の日本語指導ボランティアのみなさんの支援を受け、日本語を学習しています。



#### 学習者の声

子どもと日本語で会話するために日本語を学ぼうと思い、学習を始めた。マンツーマンは学校の便りなど自分の生活に必要な日本語を学べるためとても充実した学習ができる。モウラマギダさん(ブラジル)

### 外国人市民のための日本語教室

日本語を基礎から学ぶ日本語教室を毎週日曜日に開催しています。さまざまな国の出身者が一緒になって、日本語を学んでいます。今年度は、基礎クラスに加えて、生活場面での会話(買い物、病院など)を学ぶクラスも開催しています。



#### 学習者の声

来日間もない頃にこの教室に参加できたので、日常生活や仕事、日本への理解に役に立ち、とても助かっている。今後も引き続き勉強して日本語検定に挑戦したい。張雪超さん(中国)

### にほんごおしゃべりルーム

日本語でお話をする中で、会話の上達につながるよう、支援しています。毎週日曜日に開催しており、おしゃべりしながら、日本語でのコミュニケーション力を身に付けています。



#### 参加者の声

約半年前から通いはじめて、ここへは自転車でも40分と遠いけど、いろいろな人と話すことで、知らない言葉を学ぶことができるし、友達も増えて楽しいので、毎週来ています。ブードックカンさん(ベトナム)

### 日本語指導ボランティア講座

外国人市民の日本語学習の支援をする日本語指導ボランティアの養成講座を開催しています。外国人の現状を知ってもらい、支援するためのヒントなどをお伝えしています。



#### 受講者の声

仕事で海外に行っていたことがあり言葉で苦労した。地域の外国人で日本語に困っている人に、何かお手伝いができればと思って参加しました。

星野昭博さん

## 外国人のための相談窓口

日常生活の困りごとに対応し、不安を軽減するための相談業務を実施しています。

### 相談窓口

《ポルトガル語、中国語、英語》

ポルトガル語:毎週日曜日 9:00~15:00

中国語:休館日以外毎日 8:30~17:15

英語:休館日以外毎日 8:30~17:15

### 行政書士による行政手続き相談会

毎月第1日曜日 13:00~15:00《予約制》

行政手続き(結婚手続きなど)を、行政書士が相談に乗ります。

### ポルトガル語によるこころの相談会

毎月第2日曜日 10:00~16:00《予約制》

悩みごと、将来の不安など、ブラジル出身の心理カウンセラーが相談に乗ります。

## 日本文化に触れる・学ぶ講座

日本の文化・習慣に触れ、日本に馴染んで生活できるよう、行事に参加しています。

### 日本文化講座

着物や茶道など日本の伝統文化を体験する講座を開催しています。



### 神輿体験

外国人市民でチームを作り、みんなで神輿を担ぎ、十万石まつりへ参加しています。



### 浴衣着付け体験

地域の夏祭りに参加する外国人市民に浴衣の着付けをしています。



## 大垣市では、在住外国人に対してどのような取り組みをしているのでしょうか？

大垣市では、定住外国人の増加を背景に多文化共生のさまざまな課題に対応した取り組みを行っています。日本人と外国人が、相互に民族、国籍、文化等の多様性を認め合いながら、地域で共に生活する多文化共生社会の実現を図るため、「まちづくり推進課」が中心となって、次のような施策を実施しています。

### ● 多文化共生サポーター派遣

外国にルーツを持つ小学生の算数や国語などの授業に多文化共生サポーターが入りこみ、授業をやさしい日本語で言い換えることで、児童の授業理解を図っています。



### ● 外国人児童生徒のための放課後支援教室

外国にルーツを持つ小・中学生を対象に、郭町の多目的交流イベントハウスで、日本語指導や教科指導を実施し、外国人児童生徒の学力の向上を図っています。



### ● プレスクール「きらきら教室」

外国にルーツを持つ5歳児児童を対象に、語い指導を実施しています。また、外国人児童の保護者にも日本の小学校のルールなどを説明し、就学支援を図っています。



### ● 外国人市民防災訓練

災害経験の少ない外国人市民の防災意識を高めるため、外国人市民向け防災訓練を開催しています。また、参加者の母国料理による炊き出しを行い、異文化交流を図っています。



### ● 暮らしのガイドブック配布

ゴミ出しなどの生活情報や防災に関する情報を取りまとめた、「外国人市民のための暮らしのガイドブック」(ポルトガル語版・中国語版・英語版)を、配布しています。



### ● ポルトガル語情報誌「アミーゴ」発行

「広報おおがき」から、外国人市民に役に立つ情報を抜粋し、ポルトガル語に翻訳して毎月20日に発行しています。この9月で創刊から100号を迎えました。



### ● ポルトガル語メール配信

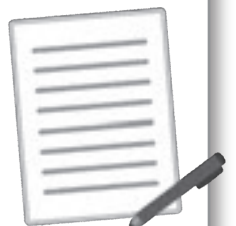
市税の納期限やゴミ出し日の変更、イベントの案内など、外国人市民に伝えたい情報を、ポルトガル語で毎週メール配信しています。



ポルトガル語情報誌「アミーゴ」や暮らしのガイドブックは、大垣市役所、大垣国際交流協会でも配布しています。

また、大垣市役所では、ポルトガル語、英語の相談窓口も設け、外国人市民からの相談や市役所での手続きのお手伝いをしています。

このページに関するお問い合わせは、大垣市まちづくり推進課(0584-47-8546)まで。



## 国際交流ボランティアグループWINGの活動 米国オレゴン州との交流27年の歩み

国際交流ボランティアグループWING  
会長 加藤咲子

私たちWINGは、大垣市内を中心に、国際交流や語学に強いわけではない主婦が始めたホームステイ受入れ団体です。1991年(平成3年)にオレゴングループのホストファミリーを務めた親子20人がオレゴンを訪れた後、「国際交流ボランティアグループWING」を設立し、今日まで活動を続けています。

主な活動としては、米国オレゴン州のオレゴン異文化交流協会(小澤勝義代表)が派遣する高校生グループのホームステイ受入れがあります。1990年から毎年欠かすことなく、27年間で752人の学生を受け入れてきました。

今年度は、34人の学生を受け入れ、7泊8日の期間中に、大垣市表



▲大垣市表敬訪問

敬訪問、牧田小学校訪問、大垣北高等学校生との交流、京都・広島見学、日本文化体験、ホームステイ等を通じて交流を深めると共に、異文化

の理解を図ることができました。また、一般市民が参加できる「第24回アメリカンセミナー」を開催し



▲大垣北高等学校にて「アメリカンセミナー」開催

ました。セミナーには、高校生をはじめ、国際理解に関心のある幅広い年齢層の人々が参加し、日米の文化の違い等について活発な意見が交わされ交流の視野を広げることができました。

また、受入れだけではなく、WINGメンバーを中心としたグループで、8回オレゴン州を訪問しています。私たちは、市長表敬訪問、学校訪問、ナイキ本社等企業視察、ホームステイを行い、オレゴン州の人々との親善交流を継続してきました。

このようなWINGの地道な草の根交流は、オレゴンから日本を訪問した学生のその後の進路選択にも大きな影響を与えています。中



▲ビーバートン市のデニー・ドイル市長と

には、日本語学習意欲や日本文化に対する関心がさらに高まって、日本語コースのある大学への進学や、ALTとなって再度日本を訪問する学生もいます。今年来日した訪問団代表のコリンシア・ワーナーさんは、市表敬訪問時に「高校生たちにとって大垣市は日本のホームになると思う。」とあいさつしました。

彼女のように再度日本(大垣)を訪問する学生が増えています。また、大垣でホームステ



▲日本文化体験(浴衣を着て茶道体験)

イした学生の家族が、オレゴンで交流事業継続を推進するサポーターとなって活躍してくれています。

さらに、2015年(平成27年)11月には、オレゴン州のビーバートン市、ユージーン市の2都市が大垣市のフレンドリーシティに加わることになりました。今年の10月には、第1回高校生研修派遣事業が予定されています。日米高校生同士の交流がいっそう充実したものになるよう願っています。

この27年間には多くの人たちとの出会いがあり、異文化を通して素晴らしい交流がありました。WINGの活動を支えていただいた皆様に感謝の気持ちを忘れず、これからも地域に根ざした活動を進めていきたいと思ひます。



▲ホストファミリーと共に

# インドネシア共和国

インドネシアは、約300の民族が暮らしています。そして、法律で宗教の信仰を義務づけられているため食文化にも宗教思想が大きく関わってきています。例えば、インドネシアの88%がイスラム教のため、ほとんどの場所で豚肉を食べることはできません。また、1万以上の島々で構成され、地域によっての気候や習慣によって、それぞれ独特の食文化があります。

## プロフィール

### エルウィンサプトラ

インドネシア共和国、北スマトラ生まれ。中学生の頃から、日本のアニメや技術に興味があり、いつか日本に行くことを夢みていたが2008年に技能実習生として来日。今の夢は、日本とインドネシアの架け橋になることです。毎週日曜日には、大垣国際交流協会のおしゃべりルームに参加して、日本語でおしゃべりすることを楽しんでいます。



- \*面積：約189万km<sup>2</sup> (日本の約5倍)
- \*人口：約2.55億人 (2015年、インドネシア政府統計)
- \*首都：ジャカルタ
- \*言葉：インドネシア語 (民族や地域ごとに言語があり、全部で600以上あると言われています)
- \*通貨：ルピア



## インドネシアの人気観光地

インドネシアと言えばバリ島ですね。世界中でバリ島を知らない人は少ないと思います。ある時日本人に聞かれました。  
日本人「あなたの国は、どこですか？」  
私「インドネシアです！インドネシアを知っていますか？」  
日本人「インドネシアは知らないけどバリ島なら行った事あるよ。バリ島とインドネシアは近い？」  
私「(笑いながら)バリ島はインドネシアの小さな島なんですよ〜笑」  
日本人「え〜そうなんですか？」ビックリした顔でした。  
この写真はバリ島のベドゥグル湖と言う所です。バリ島は島全体が観光地で、とても美しい所ですから一度行ってみたいいかがですか？最高な場所だと思います。

## 民族服

インドネシアは、民族ごとに民族服があり、私の出身地、北スマトラはバターク民族が住む地域で、この写真が民族衣装です。この服は結婚式とか誕生式の時にしか着ない服です。



## インドネシアの祭り



イスラム教断食明けの祝い祭り Idul Fitri(イール・アル・フィットル)と言う祭りです。日本で言うとお正月みたいですね。里帰りして、両親、家族、親戚、友達が集まって1年間の事をあやまつたりする。インドネシアで一番盛り上がる祭りです。

## 大渋滞



インドネシアの首都ジャカルタは、車やバイクだらけの街です。平日は毎日のように、この写真のような大渋滞がおこります。家から会社まで10kmしかないのに1〜2時間くらいかかります。歩く方が早いと思うほどです。大変です。

## 果物



この果物は「サラク」と言う果物です。東南アジア、特にインドネシアに自生する果物です。味は食べ頃だったら凄く甘いけど若いと酸っぱいです。

## インドネシア料理

この3つの料理は日本にもある料理です。(味とスパイスだけがちょっと違う)



サテ。日本だと串焼き。鳥肉、牛肉、全て串に刺す肉はサテと言います。



ナシゴレン。ナシは「米」ゴレンは「焼く・炒める」。日本だとチャーハンです。



ミーゴレン。ミーは「麺」ゴレンは「焼く・炒める」日本だと焼きそばです。

# 国際交流ボランティア募集中!

当協会の活動は、多くの市民ボランティアの協力で支えられています。あなたも「国際交流ボランティア」として参加してみませんか? 今「あなたのできること」が協力です。ぜひお気軽にお問い合わせください。

## 通訳・翻訳ボランティア



## ホームステイ・ホームビジットボランティア



## 日本文化紹介ボランティア



## 日本語指導ボランティア



## 海外・母国文化紹介ボランティア



## 企画・運営ボランティア



## インフォメーション

**海外研修派遣団員の報告会**  
**《小・中学生派遣 ドイツ、オーストラリア》**  
 日時:平成28年11月19日(土) 13:30~15:30  
 場所:スイトピアセンター スイトピアホール

**《高校生派遣 アメリカ》**  
 日時:平成28年12月17日(土) 13:30~15:00  
 場所:スイトピアセンター スイトピアホール

**元気ハツラツ市への出店**  
 日時:平成28年11月6日(日)  
 場所:大垣駅通り  
 今年も元気ハツラツ市でステージ発表とテントブースに参加します。

## 大垣市内在住外国人の国籍別人数表

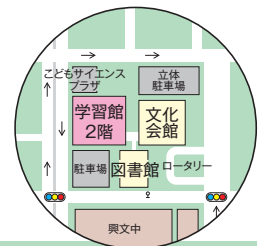
総数:4,420人(3月号との比較 115人) ※平成28年8月末現在

	人数	3月号との比較		人数	3月号との比較		人数	3月号との比較
ブラジル	1,958	72	台湾	8	-1	ドイツ	1	0
中国	1,192	25	インド	7	2	イラン	1	0
フィリピン	345	5	カナダ	6	0	メキシコ	1	0
韓国又は朝鮮	343	-7	エジプト	6	0	オランダ	1	0
ペルー	157	-4	ドミニカ共和国	4	0	パラグアイ	1	0
ベトナム	122	29	ボリビア	3	-1	ルーマニア	1	0
ネパール	75	17	コロンビア	3	0	スウェーデン	1	0
アメリカ	34	-1	ラオス	3	0	アイルランド	1	1
カンボジア	25	-2	アルゼンチン	2	0	無国籍	5	0
インドネシア	23	-2	オーストラリア	2	0	フランス	0	-12
タイ	22	3	イタリア	2	-1	ミャンマー	0	-8
バングラデシュ	15	-2	モンゴル	2	0	ロシア	0	-1
スリランカ	12	0	トルコ	2	1	コートジボワール	0	-1
マレーシア	10	1	モルドバ	2	0	カメルーン	0	-1
パキスタン	9	1	ウクライナ	2	1	総人口に占める割合	2.7%	
イギリス	9	-1	南アフリカ共和国	2	2			

## 編集後記

在住外国人の方が暮らしやすいまちづくりのために、大垣国際交流協会が実施している、外国人のための学習支援、相談窓口、また、大垣市「まちづくり推進課」が中心となって取り組んでいる事業を紹介しました。これらは、多くの方々のご協力を得て実施されております。今年6月より、当協会の理事長に日比利雄様が就任されました。前理事長の田中良幸様には、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

尚、84号は、表紙に掲載しました、ドイツとオーストラリア派遣団の特集をいたします。



## フレンドリー No.83

編集/公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会

〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地 スイトピアセンター学習館2階

TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314

http://www.i-oiea.jp/ [E-mail] oiea@mb.ginet.or.jp

発行/2016年9月

印刷/サンメッセ株式会社